

地理的な見方の デジタルアーカイビング

立正大学地球環境科学部 土屋衛治郎

はじめに

デジタルアーカイブの対象^[1]

- 実物・活動
- 印刷メディア
- 通信メディア
- デジタルメディア
- 証言・口承

「無形文化財は、人間の「わざ」そのものであり、具体的にはそのわざを体得した個人または個人の集団によって体現される。」^[2]

先人の身に付けたものに関する記録・保管・利用という観点でのデジタルアーカイブにも意義があるだろう。

文化財としての地理的な見方

フィールドワーカー各々がもつ地域を見る目と、対象地域に存在する様々なもの・ことがかけ合わさることで、地域に潜む有益な知識・知見が取り出されている。

地方創生・地域振興などにおいて、地域を見る目の重要性

- 「研究者の学術的視点や、若者や外部者の独特の視点から地域の隠れた価値を見いだす」

どこに注目するか、どう説明や解釈するかは人により異なり、また訓練を積んだ視点やユニークな視点は貴重

教育目標としての見方

文部科学省の高等学校学習指導要領解説^[3]には地理学における重要な教育目標の一つとして「地理的な見方」があり、その説明として「諸事情を位置や空間的な広がりとのかかわりで地理的事象として見出すこと」

地理学教育テキストに「見方」「捉え方」「視点」などの言い方が多用されている。

初学者「現場で何を見たらよいかわからない」

視点とは支援すべき対象

見る目の重要性

莫大な情報が含まれるであろうフィールドの中から、何に注目し、どう解釈するか

フィールドワークとは、そのフィールドにおいて人の注目点・視点が介在することにより成立する活動といえる



地理的な見方をアーカイブする

「無形文化財は、人間の「わざ」そのものであり、具体的にはそのわざを体得した個人または個人の集団によって体现される。」

フィールドワークという場面は、地理学の専門家が地理的な見方を体现する場面であるといえる。

「何に注目し、どう説明するのか」という、注目対象とその説明内容を記録する

1. 注目対象と全体・文脈の記録
2. 見方の閲覧・伝承を促進する利用法

1. 注目対象と全体・文脈の記録

地理学の専門家がフィールドワークの中で現場のどこを見て、どう説明するかを記録する。

- ヘッドマウントオプションを併用することで人の視線方向の動画記録が可能なアクションカメラを利用 (Panasonic HX-A1HまたはHX-A500)



アクションカメラ試用評価

アクションカメラを用いた目線動画と、ハンディビデオカメラを用いてフィールドワーク様子を引き気味に撮影した動画それぞれの印象^[4]

| | 視点アクションカメラ | 引きビデオカメラ |
|----|--|---|
| 長所 | <ul style="list-style-type: none">説明の対象物が分かりやすい地図など手元の道具の使い方やタイミングが分かりやすい | <ul style="list-style-type: none">全体的状況、物や人同士の関係性、位置関係が分かりやすい |
| 短所 | <ul style="list-style-type: none">その場の文脈が分かりづらい振動ブレがある | <ul style="list-style-type: none">活動者の手元や活動内容・説明内容が分かりづらい |

全体・文脈的情報

アーカイブ閲覧者が、注目対象物は何であるのか、説明はどのような内容であるかをより明確に理解するための補助として、注目点以外の情報である現場の全体的状況の記録やフィールドワークの文脈的情報の記録も必要

全天球カメラなどを用いた全方位画像や、フィールドワークに用いた地図、フィールドワークのテーマや問いにも関連する資料なども合わせて記録を行う



注目対象と全体・文脈の記録



教員視点動画



全周囲撮影

このように居酒屋や
大衆の飲み屋が多
い、ということはそ
れを利用する人が
多いということす
よね

発話テキスト

フィールドワークを
デジタルアーカイブ
↓
地理的な見方の伝承



地図データ

国鉄赤羽駅から東部鉄道
東条線にかけての一带は、
現在では一面住宅と工場
で埋め尽くされているが、

関連資料

2.見方の閲覧・伝承を促進する利用法

地理的な見方のアーカイブが成功したという状態とは何か？

その一つの答えとして、記録内容を閲覧した者が少なくとも、地理的な見方が記録内容に含まれていることに気づくこと

さらには、専門家の見方の具体的内容について明確に把握や理解することや、見方を受け取り伝承がなされた状態になることや、

専門家の見方に刺激をうける形で自らの地理的な見方を増進や改善していける状態であると考える。

デジタルアーカイブの提示方法の工夫や地理的な見方の教育機会として利用方法を積極的に作りだしていくことが必要と考える

事例：赤羽巡検デジタルアーカイブ

東京都北区赤羽のフィールドワーク

- テーマ「東京北区赤羽周辺の戦前・戦中・戦後」
- 赤羽周辺を歩き、景観を観察しながら、第二次世界大戦前後の痕跡を探るものであった。
- 主担当教員が学生を引率する形で赤羽地域に赴き、地域内の5箇所ほどに移動し、観察や簡単な調査活動を行いつつ、注目点とその意味や解釈について説明がされる。

フィールドワーク主担当者(地理学専門家)、報告者、学生サポーターの合計3名でアーカイブを試みた。

事前準備

事前取材として、筆者が同じ活動である大学授業に参加し、フィールドワークの詳細なルートや、足を止めて調査と説明活動が実施される箇所の確認と、各箇所で実施される担当教員の説明内容について把握を行った。

1. 記録

学生サポーターが学生役、担当教員から説明を受け質疑応用をする中でさらに説明を引き出す形にし、担当教員の説明内容の豊富化。

担当教員と学生サポーター両名にアクションカメラを装着



担当教員と学生サポーターが説明活動を実施する各箇所において、全天球カメラによって全方位画像を画像記録した。フィールドワークの文脈情報として、授業で実際に利用した赤羽地域の地図や、赤羽地域の戦前・戦中・戦後の様子に関する資料のスキャンなどによるデジタル化を行った。



2. 利用

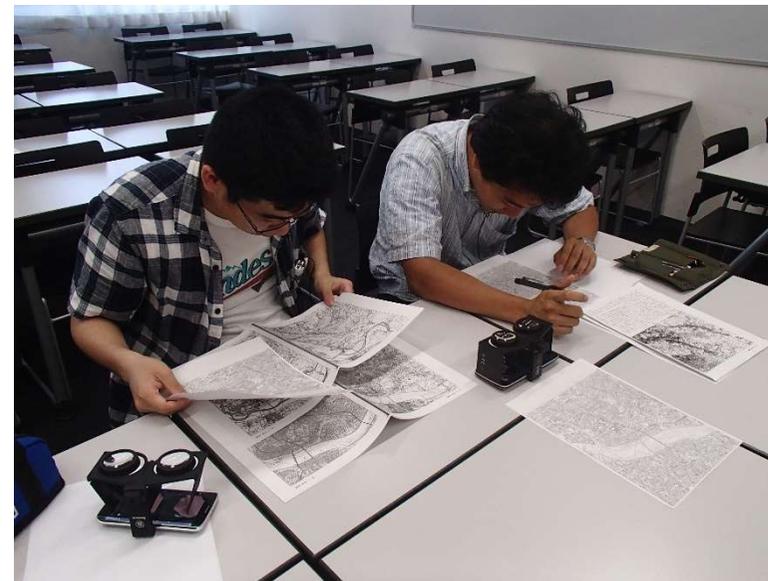
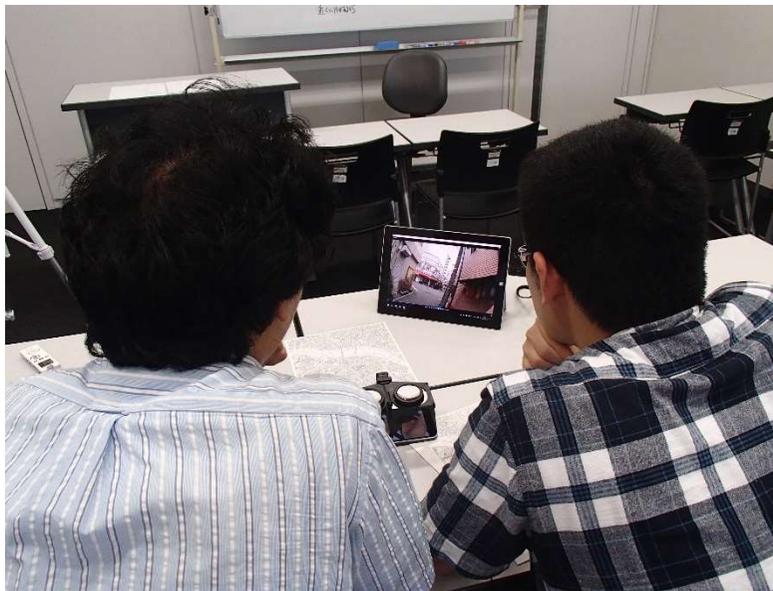
地理学科学部生2名に対し利用評価実験

| 実験内容 | 全地理的言及数 | 内、理由・推察の数 |
|---------|---------|-----------|
| 全方位画像閲覧 | | |
| 視点動画視聴 | | |

全方位画像をVRディスプレイで閲覧



アクションカメラ動画を視聴。関連資料も閲覧



2. 利用

地理学科学部生2名に対し利用評価実験

✓全地理的言及数「それで、ホテルメッツあんじゃん。」

「っていうかさ、広いねここ。」

✓理由・推察

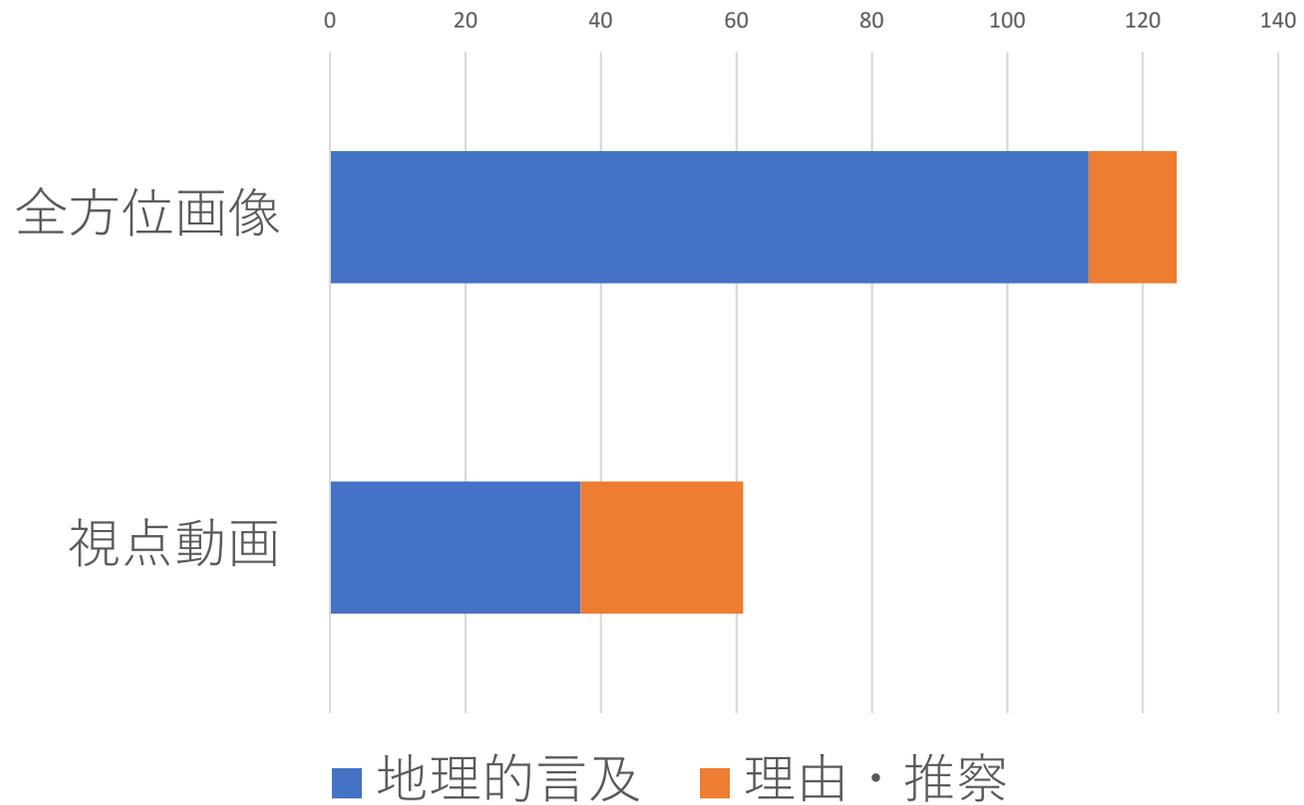
「そのお酒のために、よりたくさん飲みたい人もいるだろうから、飲み過ぎたけどまあお金がないときに、アコムとかの高利貸しのお店に行ってお金を借りて。」

2. 利用

地理学科学部生2名に対し利用評価実験

- ✓ 全地理的言及数
- ✓ 理由・推察

| 実験内容 | 全地理的言及数 | 内、理由・推察の数 |
|---------|---------|---------------|
| 全方位画像閲覧 | 125 | 13 (10.4%) |
| 視点動画視聴 | 61 | 24 (39.3%) |



まとめ

人が持つ地理的な見方のデジタルアーカイブ

フィールドワークという、地理的な見方が体現される場において、
アクションカメラを用いて、どこを見てどう説明するのかの記録

全方位画像や関連資料から、その場はどのような状況でどのような文脈であったかの記録

利用方法の工夫

参考文献

- [1] 井上透. デジタルアーカイブの対象としての証言・口承. デジタルアーカイブ研究誌. 2017, 4(1), 6p.
- [2] 文化庁. 無形文化財.
<http://www.bunka.go.jp/seisaku/bunkazai/shokai/mukei/> (閲覧 2017/5/30).
- [3] 文部科学省. 高等学校学習指導要領解説 地理歴史. 2014.
- [4] 本岡拓哉, 土屋衛治郎, 松尾忠直, 中島健太. 「地理的な見方」のデジタルアーカイビング. 日本地理学会発表要旨集. 2017, 91, 355p.